



# 奈良県感染症情報

令和3年 第33週(8月16日～8月22日)  
奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)  
<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## 今週の概要

- L452R 変異株 PCR 検査(スクリーニング検査)の実施状況

### ◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

順位	疾患名	奈良県		北部	中部	南部
		定点当たり	増減(前週)			
1	感染性胃腸炎	2.32	(1.79) →	→	→	→
2	RSウイルス感染症	1.56	(1.59) →	→	→	↑↑
3	突発性発しん	0.41	(0.32) →	→	→	→
4	咽頭結膜熱	0.26	(0.18) →	→	→	→
5	手足口病	0.09	(0.03) →	↑	→	→

発生状況: **大流行** 流行 やや流行 少し流行 散発 (疾患毎に、基準値を定めています)  
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑**急増、**↑**増加、**→**横ばい、**↓**やや減少、**↓↓**減少

### ◆ 県内概況 ◆

新型コロナウイルス感染症については、全国的にかつてない勢いで感染が拡大しています。特に大阪などの都市部における増加は顕著的で、その影響を受ける奈良県においても、第33週の新型コロナウイルス新規感染者数は1156名と、感染者が急増しています。その状況は、既に第4波を上回る事態となっており、感染者の多くがデルタ株に感染していると考えられます。デルタ株は感染力が強いとされており、より家庭内や職場で感染を広げる可能性があります。変異株であっても、個人の基本的な感染予防対策は、3密(密集・密接・密閉)や特に感染リスクの高い5つの場面の回避、マスクの適切な着用、手洗いなどが有効ですので、実行をお願いします。

また、ワクチン接種率が低い市町で、感染者数が多い状況が見受けられます。市町村の間でも接種率に差があり、低いワクチン接種率が影響している可能性があります。奈良県では、希望するすべての県民が、早期に接種を完了することができるよう、従来の市町村等での接種に加え、県で集団接種会場を設置し、接種の加速化を図る目的として、広域ワクチン接種(新型コロナワクチン)を実施しています。奈良県広域ワクチン接種 特設ページ(<http://www.pref.nara.jp/59054.htm>)にて、情報が掲載されていますので、ご利用ください。

### ■ 接種の予約は「接種予約サイト」または「コールセンター」から

● 接種予約サイト

<https://info.vc-nara.liny.jp/info/nara>

受付時間 24時間

(※但し、8/17(土)00:00～10:00まで停止します。)

● コールセンター

**0742-90-0050**

受付時間 9:00～17:00

(※但し、8/17(土)10:00～)

※8月25日現在は、予約満了しています。キャンセルが出た場合は、都度予約枠が開放されます。予約は接種前日23時59分まで可能です。キャンセル待ちをされる方は、随時、接種予約サイトで予約状況をご確認の上、キャンセルが生じた場合は速やかに予約ください。コールセンターでの予約は、通話中にキャンセル枠が埋まってしまいう可能性もあるため、接種予約サイトでの予約をお勧めします。

### ◆ L452R 変異株 PCR 検査(スクリーニング検査)の実施状況 ◆

検査実施週	L452R変異株 PCR検査数	L452R変異株 陽性者数	国立感染症研究所・奈良保健研究センター	
			デルタ株 (N501Y変異株をPCR検査)	ゲノム解析結果 (判明数のみ)
6月7日～6月8日	3	-	3*	-
8月9日～8月15日	532	137	9	0
8月16日～8月22日	224	176	5	0
計	1087	591	23	0

デルタ株: インドで最初に検出された変異株  
 ※N501Y 変異株 PCR 検査を実施し、陰性であった3検体を国立感染症研究所へ送付しゲノム解析した結果、すべてデルタ株であるとの報告が6月21日ありました。



# 奈良県感染症情報

令和3年 第34週(8月23日～8月29日)  
奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)  
<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## 今週の概要

- 小児科外来情報
- L452R 変異株 PCR 検査(スクリーニング検査)の実施状況

### ◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

順位	疾患名	奈良県		北部	中部	南部
		定点当たり	増減(前週)			
1	感染性胃腸炎	2.76	(2.32) →	→	→	↑
2	RSウイルス感染症	1.97	(1.56) →	→	→	↑
3	突発性発しん	0.44	(0.41) →	→	→	↑↑
4	A群溶連菌咽頭炎	0.18	(0.03) →	→	↑↑	↓
5	咽頭結膜熱	0.09	(0.26) ↓	↓	↓	→

発生状況: **大流行** 流行 やや流行 少し流行 散発 (疾患毎に、基準値を定めています)  
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑**急増、**↑**増加、**→**横ばい、**↓**やや減少、**↓↓**減少

### ◆ 県内概況 ◆

第34週の新型コロナウイルス新規感染者数は、1412名と前週の1156名から引き続き大きく増加しました。現在の感染状況を踏まえると、感染者の多くがデルタ株に感染していると考えられます。デルタ株は感染力が強いとされており、家庭内や職場で感染を広げる可能性があります。買い物や食事、レジャーなど、不要不急の大坂など都市部との往来は避け、仕事や学校に行くときでも、寄り道せずにまっすぐ帰るようご注意ください。また、ふだん同居していない人と、マスクをはずさない状態での対面は避けるようにしましょう。

感染拡大を抑え、換気、密閉や手指の消毒、人との距離の確保、マスクを着用するなど、感染の連鎖を断ち切るよう、基本的な予防対策の徹底をお願いします。

### ◆ 小児科外来情報 ◆

#### ■ 北部地区(田中小児科医療)

COVID-19 感染者が通常の外来診察でも見られるようになって来た。保育園では複数名陽性者あり。インフルエンザ感染動向の様な欠席情報があれば有難いです。  
 RS 感染症、サルネネウイルス感染症があった。

#### ■ 中部地区(岡本内科子どもクリニック)

小児の発熱例が増加しており緊迫、Covid19 陽性例は今のところなし。  
 感染性腸炎が増加、水様便例、家族内複数例もあり病原検査中。

例年の夏風邪等、その他の感染症は皆無に近い状況。

#### ■ 南部地区(奈良県総合医療センター小児科)

RSウイルス感染症が再び流行拡大してきた。乳幼児の入院も多い。退院後、再び高熱となる例もみられた。COVID-19の小学生クラスターは重症例なく落ち着いた。  
 軽症呼吸器症候群での受診者が増加、アレルギー性かとの鑑別は困難。対症療法で改善している。

### ◆ L452R 変異株 PCR 検査(スクリーニング検査)の実施状況 ◆

検査実施週	L452R変異株 PCR検査数	L452R変異株 陽性者数	国立感染症研究所・奈良保健研究センター	
			デルタ株 (N501Y変異株をPCR検査)	ゲノム解析結果 (判明数のみ)
6月7日～6月15日	3	-	3*	-
8月16日～8月22日	756	313	14	0
8月23日～8月29日	341	278	16	0
計	1406	866	33	0

デルタ株: インドで最初に検出された変異株  
 ※N501Y 変異株 PCR 検査を実施し、陰性であった3検体を国立感染症研究所へ送付しゲノム解析した結果、すべてデルタ株であるとの報告が6月21日ありました。



# 奈良県感染症情報

令和3年 第35週(8月30日～9月5日)  
奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)  
<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## 今週の概要

- 病原体(ウイルス)検出情報(8月)
- L452R変異株PCR検査(スクリーニング検査)の実施状況

### ◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)

順位	疾患名	奈良県		北部	中部	南部
		定点当たり	増減(前週)			
1	感染性胃腸炎	2.38	(2.76)	→	→	→
2	RSウイルス感染症	1.15	(1.97)	→	→	←
3	突発性発しん	0.26	(0.44)	→	→	→
4	咽頭結膜熱	0.12	(0.09)	→	→	→
5	手足口病	0.06	(0.03)	→	←	→

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています)  
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑**急増、**↑**増加、**→**横ばい、**↓**やや減少、**↓↓**減少

### ◆県内概況(新型コロナウイルス関係)

第35週の新型コロナウイルス新規感染者数は1244名と、前週より少なくなっていますが、依然として多い状況が続いています。第35週に実施したL452R変異株PCR検査(スクリーニング検査)では、305件のうち、約9割である277件がL452R陽性となりました。

#### 県民のみなさまへ

本県では、高い危機意識を持ち続けながら、感染拡大を抑え、全力で命を守る取組を進めるため、「緊急対処措置」を実行しています。大阪など都市部を中心に爆発的な勢いで感染者が増加し、本県でも感染者が増えています。  
 現在の感染状況を踏まえ、感染者の多くがデルタ株に感染していると考えられます。デルタ株は感染力が強いとされており、家庭内や職場で感染を広げる可能性があります。また、デルタ株は入院リスクが高いとされており、一層の細心の注意が必要です。

県民のみなさまには、引き続きの感染予防の徹底へのご協力をお願いします。

### ◆病原体(ウイルス)検出情報(令和3年8月)◆

\*ウイルス分離同日での集計結果

検出病原体	北部	中部	南部	その他	臨床診断名
アデノ	5	1			急性脳症(D)
ヒトパルペコ	3	1			パルペコウイルス脳炎(脳症)(D)

### ◆L452R変異株PCR検査(スクリーニング検査)の実施状況◆

検査実施週	L452R変異株PCR検査数	L452R変異株陽性者数	国立感染症研究所・奈良県研究センター	
			デルタ株陽性者数	検査不能
6月7日～	3	-	3*	-
8月22日～	1097	591	30	0
8月23日～	309	275	13	0
8月30日～	305	277	0	0
計	1711	1143	46	0

デルタ株: インドで最初に検出された変異株  
 ※N501Y変異株PCR検査を実施し、陰性であった3検体を国立感染症研究所へ送付し、デルタ株の結果、すべてデルタ株であるとの報告が6月21日ありました。



# 奈良県感染症情報

令和3年 第36週(9月6日～9月12日)  
奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)  
<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## 今週の概要

- 小児科外来情報
- L452R変異株PCR検査(スクリーニング検査)の実施状況
- 8月報(月単位)報告対象疾患(特感染症・薬剤耐性菌感染症)の状況

### ◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)

順位	疾患名	奈良県		北部	中部	南部
		定点当たり	増減(前週)			
1	感染性胃腸炎	2.29	(2.38)	↗	↘	↗
2	RSウイルス感染症	0.56	(1.15)	↘	↘	↘
3	A群溶連菌咽頭炎	0.38	(0.03)	↗	↗	↗
3	ヘルパンギーナ	0.38	(0.03)	↗	↗	↗
5	突発性発しん	0.32	(0.26)	→	→	→

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています)  
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑**急増、**↑**増加、**↗**やや増加、**→**横ばい、**↘**やや減少、**↓↓**減少

### ◆県内概況(新型コロナウイルス関係)

第36週の新型コロナウイルス新規感染者数は715名と、前週より少なくなっていますが、依然として多い状況が続いています。第36週に実施したL452R変異株PCR検査(スクリーニング検査)では、270件のうち、約9割である242件がL452R陽性となりました。

県民のみなさまには、引き続きの感染予防の徹底へのご協力をお願いします。

### ◆小児科外来情報◆

#### 北部地区(田中小児科医院)

患者数は少ない。  
 RSウイルス感染症はまだ見られる。  
 下痢症状が1日1回で、高熱と腹痛が主訴のサルモネラ腸炎があった。  
 下の子はRS感染症で、上の子がCOVID-19の例があった。

#### 中部地区(南本内科子どもクリニック)

微熱程度、咳嗽の軽症経過の感冒がみられる。感染性腸炎も見られたが軽症経過。  
 口内炎と手に少しの針頭大の発赤例があり軽症の手足口病が疑われた。  
 Covid19に関しては迅速陽性例を散見しているが  
 小児では学童教室などで発生していると保護者の言もあるも陽性例はなかった。

#### 南部地区(奈良県総合医療センター小児科)

ウイルス性胃腸炎が増加している。各種迅速検査では反応なく、対象で軽快している。また遷延する呼吸器症状を訴える小児も増加。アレルギー関連の判別困難例も多い。  
 肺炎球菌性気管支炎の入院例もあり。

### ◆L452R変異株PCR検査(スクリーニング検査)の実施状況◆

検査実施週	L452R変異株PCR検査数	L452R変異株陽性者数	国立感染症研究所・奈良県研究センター	
			デルタ株陽性者数	検査不能
6月7日～	3	-	3*	-
8月29日～	1406	866	43	0
8月30日～	305	277	12	0
9月6日～	270	242	0	0
計	1981	1385	58	0

デルタ株: インドで最初に検出された変異株  
 ※N501Y変異株PCR検査を実施し、陰性であった3検体を国立感染症研究所へ送付し、デルタ株の結果、すべてデルタ株であるとの報告が6月21日ありました。



# 奈良県感染症情報

令和3年 第37週(9月13日～9月19日)  
奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)  
<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL.0744-47-3183

## 今週の概要

- 12歳以上の若年者への新型コロナウイルス接種について
- L452R変異株PCR検査(スクリーニング検査)の実施状況

### ◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

順位	疾患名	奈良県		北部	中部	南部
		定点当たり	増減(前週)			
1	感染性胃腸炎	2.68	(2.29) → ↗	↗	→	↗
2	A群溶連菌咽頭炎	0.53	(0.38) ↗↗	→	↗↗	→
3	突発性発しん	0.29	(0.32) →	↘	↗	↗↗
3	ヘルパンギーナ	0.29	(0.38) ↗	↗↗	→	→
5	RSウイルス感染症	0.26	(0.56) ↘	↘	↘	↘

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています)  
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↗**急増、**↗**やや増加、**→**横ばい、**↘**やや減少、**↘**減少

### ◆県内概況(新型コロナウイルス関係)◆

第37週の新型コロナウイルス新規感染者数は387名と、34週をピークに減少が続いています。一方、感染者のうち10歳未満の割合が増えています。第37週に実施したL452R変異株PCR検査(スクリーニング検査)では、221件のうち、187件がL452R陽性となりました。

#### 県民のみなさまへ

本県では、高い危機意識をもち続けながら、感染拡大を抑え、全方で命を守る取組を進めるため、「緊急対処措置」を実行しています。大阪など都市部を中心に感染者が高い水準で推移しており、本県でも危険な状態が続いています。

現在、デルタ株が拡がっています。デルタ株は感染力が強いとされ、家庭内や職場で感染を広げる可能性があります。また、入院リスクが高くとされており、一層の細心の注意が必要です。

県民のみなさまには、引き続きの感染予防の徹底へのご協力をお願いいたします。

### ◆12歳以上の若年者への新型コロナウイルス接種について◆

予防接種法に基づく接種の対象は、接種の日に満12歳以上の方です。このため、12歳に満たない方は、新型コロナウイルスの接種の対象にはなりません。日本小児科学会は12歳以上の健康な子供へのワクチン接種は意義があるが、接種にあたってはメリットとデメリットを本人と養育者が十分に理解していることが大切であるとしています。県HPに12歳以上の若年者への新型コロナウイルス接種に関する現時点での知見を集約したQAを掲載しています。保護者の方々、お子様のワクチン接種の可否について、ご判断いただく際にご参考とさせていただきます。

12歳以上の若年者への新型コロナウイルス接種 Q&A 【奈良県HP】  
<http://www.pref.nara.jp/59177.htm>

### ◆L452R変異株PCR検査(スクリーニング検査)の実施状況◆

検査実施週	L452R変異株PCR検査数	奈良県		L452R変異株陽性者数	デルタ株(100%変異株PCR検査)	解析不能
		検査数	陽性者数			
6月7日～9月5日	1711	1143	55	0	0	0
9月6日～9月12日	270	242	5	0	10	0
9月13日～9月19日	221	187	0	0	0	0
計	2202	1572	63	0	10	0

デルタ株・インデックスで最初に検出された変異株  
 ※N501Y変異株PCR検査を実施し、陰性であった3検体を国立感染症研究所へ送付しゲノム解析した結果、すべてデルタ株であるとの報告が6月21日ありました。



# 奈良県感染症情報

令和3年 第38週(9月20日～9月26日)  
奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)  
<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL.0744-47-3183

## 今週の概要

- 小児科外来情報
- L452R変異株PCR検査(スクリーニング検査)の実施状況

### ◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

順位	疾患名	奈良県		北部	中部	南部
		定点当たり	増減(前週)			
1	感染性胃腸炎	2.50	(2.68) →	→	→	↗
2	手足口病	0.53	(0.00) ↗↗	↗↗	↗↗	→
3	突発性発しん	0.44	(0.29) ↗	↗	→	↘
4	ヘルパンギーナ	0.29	(0.29) ↗	↗	↗	→
5	RSウイルス感染症	0.24	(0.26) ↘	↘	↘	↘

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています)  
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↗**急増、**↗**やや増加、**↗**横ばい、**↘**やや減少、**↘**減少

### ◆県内概況(新型コロナウイルス関係)◆

第38週の新型コロナウイルス新規感染者数は211名と、第34週をピークに減少傾向にあります。第38週に実施したL452R変異株PCR検査(スクリーニング検査)では、173件のうち142件がL452R陽性となりました。

県民のみなさまには、引き続きの感染予防の徹底へのご協力をお願いいたします。

### ◆小児科外来情報◆

#### 北部地区(田中小児科医院)

RSウイルス感染症以外に登録する疾患はなかった。  
 健診と予防接種以外の来院者は少ない。

#### 中部地区(佃本内科子どもクリニック)

短期の発熱の感冒と思われた例が主、学童例もあるがCovid19検査実施例なく感染状況は不明。  
 感染性腸炎も少しずつ持続。例年の夏風邪等は今夏見られなかった。

#### 南部地区(奈良県総合医療センター小児科)

RSウイルス感染症は減少してきた。遷延する咳嗽・鼻汁のウイルス性呼吸器感染は増加してきたが、軽症に経過している。また下痢の長引くウイルス性腸炎も増加、各種迅速検査には反応なく、対症療法で改善している。

### ◆L452R変異株PCR検査(スクリーニング検査)の実施状況◆

検査実施週	L452R変異株PCR検査数	奈良県		L452R変異株陽性者数	デルタ株(100%変異株PCR検査)	解析不能
		検査数	陽性者数			
6月7日～9月12日	1981	1385	82	0	0	0
9月13日～9月19日	221	187	0	0	0	0
9月20日～9月26日	173	142	0	0	0	0
計	2375	1714	85	0	0	0

デルタ株・インデックスで最初に検出された変異株  
 ※N501Y変異株PCR検査を実施し、陰性であった3検体を国立感染症研究所へ送付しゲノム解析した結果、すべてデルタ株であるとの報告が6月21日ありました。





# 奈良県感染症情報

令和3年 第39週(9月27日～10月3日)  
奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)  
<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## 今週の概要

- 感染リスクを下げる取組について
- L452R変異株PCR検査(スクリーニング検査)の実施状況

### ◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県		北部	中部	南部
		定点当たり	(前週) 増減			
1	感染性胃腸炎	2.21	(2.50) →	→	→	↑
2	手足口病	0.68	(0.53) ↑↑	↑↑	↑↑	→
3	突発性発しん	0.32	(0.44) →	→	→	↓
4	ヘルパンギーナ	0.29	(0.29) ↗	→	↑	→
5	水痘	0.26	(0.09) ↑↑	↓	↑↑	→

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **やや流行** **少流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています)  
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑**急増、**↑**増加、**↗**やや増加、**→**横ばい、**↘**やや減少、**↓**減少

### ◆ 県内概況(新型コロナウイルス関係) ◆

第39週の新型コロナウイルス新規感染者数は92名と、第34週をピークに減少傾向にあります。第39週に実施したL452R変異株PCR検査(スクリーニング検査)では223件のうち182件がL452R陽性となりました。

#### 県民のみなさまへ

これまで最大の感染規模となった第5波は、県民のみなさまの感染防止対策へのご協力を得て、ようやく落ち着いてきました。  
 しかしながら、感染症のリスクはゼロにすることはできません。新型コロナウイルスとの戦いは、今後さらに長期間にわたる可能性があります。県では「県民の命を守る」ことを最重点の目標とし、第6波に備えつつ、社会・経済活動と日常生活の維持との両立を図ることとしています。

県民のみなさまには、引き続きの感染予防の徹底へのご協力をお願いします。

### ◆ 感染リスクを下げる取組について ◆

- 仕事や事業所について
  - ・ 仕事や休憩室でも、マスクを着け、近距離・大声での会話を避ける
  - 友人等との交流について
    - ・ 飲食はきちんと感染対策をしている店舗で、マスクを外した会話は控える
    - ・ 人数・長時間は避け、大声での会話はしない
- 家庭内感染を防ぐために(症状が出たから)
  - ・ 空間的分離。過ごす場所を分けましょう
  - ・ 同時に同じ場所にいるときは、お互いマスクを着けましょう
  - ・ 部屋は、適宜窓をあけて換気しましょう
  - ・ 衣服は洗濯、食器は洗浄しましょう。洗った後の手指衛生は忘れずに
  - ・ コミは密閉して捨てましょう



### ◆ L452R 変異株 PCR 検査(スクリーニング検査)の実施状況 ◆

検査実施週	L452R変異株PCR検査数	国立感染症研究所・県保健研究センター ゲノム解析結果 (判明数の%) の比率		デルタ株 3 ※	解析不能
		L452R変異株 PCR検査数	L452R変異株 陽性者数		
6月7日 ~ 9月19日	3	1572	0	0	-
9月20日 ~ 9月26日	2202	173	182	0	0
9月27日 ~ 10月3日	223	142	0	0	0
計	2598	1896	112	0	0

デルタ株:インドで最初に検出された変異株  
 ※N501Y変異株PCR検査を実施し、陰性であった3検体を国立感染症研究所へ送付しゲノム解析した結果、すべてデルタ株であるとの報告が6月21日ありました。



# 奈良県感染症情報

令和3年 第40週(10月4日～10月10日)  
奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)  
<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## 今週の概要

- 小児科外来情報
- L452R変異株PCR検査(スクリーニング検査)の実施状況

### ◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県		北部	中部	南部
		定点当たり	(前週) 増減			
1	感染性胃腸炎	1.59	(2.21) →	→	→	↓
2	手足口病	0.68	(0.68) ↑	↑↑	↑	→
3	ヘルパンギーナ	0.41	(0.29) ↑	↑↑	↑	→
4	突発性発しん	0.18	(0.32) →	→	→	↓
5	水痘	0.15	(0.26) ↑	↑↑	↑	→

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **やや流行** **少流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています)  
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑**急増、**↑**増加、**↗**やや増加、**→**横ばい、**↘**やや減少、**↓**減少

### ◆ 県内概況(新型コロナウイルス関係) ◆

第40週の新型コロナウイルス新規感染者数は71名と、第34週をピークに減少傾向にあります。第40週に実施したL452R変異株PCR検査(スクリーニング検査)では73件のうち60件がL452R陽性となりました。県民のみなさまには、引き続きの感染予防の徹底へのご協力をお願いします。

### ◆ 小児科外来情報 ◆

#### 北部地区(田中小児科医院)

RSウイルス感染症はなまった。ヘルパンギーナが保育園で流行している。  
 保育園でCovid19の発生があり、発熱患児に抗原迅速検査を実施するが陽性例はない。  
 便培養陰性、迅速便ウイルス検査陰性で10日程下痢が続く例がある。

#### 中部地区(蜀本内科こどもクリニック)

鼻水、咳の軽症感冒例が主。発熱例も多くない。  
 感染性腸炎もわずかずみられるが軽症経過。  
 手足口病等は見られない。

#### 南部地区(奈良県総合医療センター小児科)

咳・鼻汁の患者が増加しているが、大部分は軽症に経過している。胃腸炎も増加、一部よりノロウイルスが検出されている。  
 手足口病が流行している保育所もある。

### ◆ L452R 変異株 PCR 検査(スクリーニング検査)の実施状況 ◆

検査実施週	L452R変異株PCR検査数	国立感染症研究所・県保健研究センター ゲノム解析結果 (判明数の%) の比率		デルタ株 3 ※	解析不能
		L452R変異株 PCR検査数	L452R変異株 陽性者数		
6月7日 ~ 9月26日	3	2375	1714	0	-
9月27日 ~ 10月3日	223	223	182	0	0
10月4日 ~ 10月10日	73	60	0	0	0
計	2671	1956	124	0	0

デルタ株:インドで最初に検出された変異株  
 ※N501Y変異株PCR検査を実施し、陰性であった3検体を国立感染症研究所へ送付しゲノム解析した結果、すべてデルタ株であるとの報告が6月21日ありました。

# 奈良県感染症情報

## 今週の概要

- 3つの感染経路(エアロゾル、飛沫、接触)の遮断について
- L452R変異株PCR検査(スクリーニング検査)の実施状況
- 9月報(月単位)報告対象疾患(性感染症・薬剤耐性菌感染症)の状況

### ◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

順位	疾患名	奈良県			中部	南部
		定点当たり	増減(前週)	増減		
1	感染性胃腸炎	2.24	(1.59)	→	→	→
2	手足口病	0.74	(0.68)	↑	↑	↓
3	ヘルパンギーナ	0.41	(0.41)	→	→	↓
4	突発性発しん	0.18	(0.18)	→	→	↓
5	咽頭結膜熱	0.15	(0.06)	→	↑↑	↑↑

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています)  
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑**急増 **↑**増加 **→**横ばい **↓**やや減少 **↓↓**減少

### ◆県内概況(新型コロナウイルス関係)◆

第41週の新型コロナウイルス新規感染者数は63名と、前期陽性者数及び陽性率いずれも減少しています。第41週に実施したL452R変異株PCR検査(スクリーニング検査)では19件のうち19件全てがL452R陽性となりました。

#### 県民のみなさまへ

これまで最大の感染規模となった第5波は、県民のみなさまの感染防止対策へのご協力を得て、ようやく落ち着いてきました。しかしながら、感染症のリスクはゼロにはできません。新型コロナウイルスとの戦いは、今後さらに長期間にわたる可能性があります。県では「県民の命を守る」ことを最重点の目標とし、第6波に備えつつ、社会・経済活動と日常生活の維持との両立を図っています。

県民のみなさまには、引き続きの感染予防の徹底へのご協力をお願いいたします。

### ◆3つの感染経路(エアロゾル、飛沫、接触)の遮断について◆

**1 エアロゾル** 飛沫が届かない **2 m以上の距離** を確保しましょう。  
**2 飛沫** マスクには、飛沫抑制のほか、汚れた手で鼻や口をさわらないなど、複合的な感染防止効果があります。特に、不織布マスクは有効とされています。  
**3 接触** 物品・環境の消毒 **手指の消毒** できせく!

### ◆L452R変異株PCR検査(スクリーニング検査)の実施状況◆

検査実施週	L452R変異株PCR検査数	L452R変異株陽性者数	ゲノム解析結果		
			ゲノム解析数	ゲノム解析結果(変異株)	解析不能
6月7日～10月3日	0	-	3	※	-
10月4日～10月10日	2598	1896	181	0	0
10月11日～10月17日	73	80	2	0	0
計	2670	1975	186	0	0

ゲノム解析結果  
 デルタ株: インドで最初に検出された変異株  
 ※N501Y変異株PCR検査を実施し、陰性であった3検体を国立感染症研究所へ送付しゲノム解析した結果、すべてデルタ株であるとの報告が6月21日ありました。

# 奈良県感染症情報

## 今週の概要

- 小児科外来情報
- L452R変異株PCR検査(スクリーニング検査)の実施状況

### ◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

順位	疾患名	奈良県			中部	南部
		定点当たり	増減(前週)	増減		
1	感染性胃腸炎	2.62	(2.24)	→	→	→
2	手足口病	2.29	(0.74)	↑↑	↑↑	↓
3	突発性発しん	0.41	(0.18)	→	→	↓
3	ヘルパンギーナ	0.41	(0.41)	→	→	↓
5	A群溶連菌咽頭炎	0.21	(0.06)	→	↑	↑↑

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています)  
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑**急増 **↑**増加 **→**横ばい **↓**やや減少 **↓↓**減少

### ◆県内概況(新型コロナウイルス関係)◆

第42週の新型コロナウイルス新規感染者数は30名と、前週より減少しています。第42週に実施したL452R変異株PCR検査(スクリーニング検査)では16件のうち11件がL452R陽性となりました。

#### 県民のみなさまには、引き続きの感染予防の徹底へのご協力をお願いいたします。

### ◆小児科外来情報◆

#### 北部地区(田中小児科医院)

1、2回の嘔吐を伴う感染性胃腸炎が増えている。水痘が散見される。

#### 中部地区(関本内科子どもクリニック)

気候の不順につれて手足を中心に感冒症状が増加。短期の発熱、咳など軽症経過。感染性腸炎も流行あり、水様下痢などで嘔吐は少ない。

#### 南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

軽症で遷延する呼吸器感染症が増加している。各種迅速検査や血液検査でも反応なく、対症療法で改善。軽症の下痢も散見されている。

夏カゼはほぼ見られなくなった。

### ◆L452R変異株PCR検査(スクリーニング検査)の実施状況◆

全国的にデルタ株に置き換わり、国内で監視強化の対象とする新たな変異株が確認されていなく、様々な変異株の発生の動向を広く監視するためゲノム体制を強化することから、L452R変異株PCR検査(スクリーニング検査)及び公表を今週をもって終了します。なお、ゲノム解析については、引き続き実施し、国立感染症研究所に報告します。(ゲノム解析結果の公表については、当面の間、国が一括して実施)

検査実施週	L452R変異株PCR検査数	L452R変異株陽性者数	ゲノム解析結果		
			ゲノム解析数	ゲノム解析結果(変異株)	解析不能
6月7日～10月10日	3	-	3	※	-
10月11日～10月17日	2671	1956	280	0	0
10月18日～10月24日	16	11	0	0	0
計	2706	1986	286	0	0

ゲノム解析結果  
 デルタ株: インドで最初に検出された変異株  
 ※N501Y変異株PCR検査を実施し、陰性であった3検体を国立感染症研究所へ送付しゲノム解析した結果、すべてデルタ株であるとの報告が6月21日ありました。



# 奈良県感染症情報

令和3年 第43週(10月25日～10月31日)  
奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)  
<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## 今週の概要

- 感染性胃腸炎にご注意

### ◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県		北部	中部	南部
		定点当たり	(前週) 増減			
1	感染性胃腸炎	2.35	(2.62) ↓	↑	→	↓
2	手足口病	2.21	(2.29) ↓	↑	↑↑	↓
3	ヘルパンギーナ	0.68	(0.41) ↑	↑	↑	↓
4	突発性発しん	0.35	(0.41) ↓	→	↗	→
5	RSウイルス感染症	0.15	(0) ↑	↓	↑↑	→

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています)  
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの増減 **↑**急増、**↑↑**増加、**↗**やや増加、**→**横ばい、**↘**やや減少、**↓**減少

### ◆ 県内概況(新型コロナウイルス関係) ◆

第43週の新型コロナウイルス新規感染者数は39名と、前週より増加しています。  
 県民のみならず、引き続きの感染予防の徹底へのご協力をお願いいたします。

### ◆ 県内概況(その他の感染症) ◆

手足口病の報告数が高いレベルで推移しています。特に中和保健所管内西部地域および奈良市保健所からの報告数が多く、大阪府や兵庫県でも報告数が多い状態が続いています。手足口病は、口の中や手足などに水ぶくれのよう発疹が出る感染症で、感染経路は飛沫感染や接触感染です。トイレやおむつの交換には、しっかりと手を洗うようにしましょう。

### ◆ 感染性胃腸炎にご注意 ◆

感染性胃腸炎は一年を通じて発生していますが、特に冬期に増え12月に流行のピークを迎えます。子どもや高齢者は重症化しやすいので特に注意が必要です。  
 感染を予防・拡大防止のため、以下のことに注意しましょう。

- ① 「手洗い」をしっかりする  
 ウイルスを広げないためには、**しっかりと手洗い(石けんを使い30秒ほどを洗いした後、流水でしっかりとすすぐ)**をして、手からウイルスを落とすことが大切です。  
**調理器具や調理台は「消毒」していつも清潔**にしましょう。  
 (まな板、包丁、食器、ふきんなどは使用後すぐに洗いましょ。熱湯(85℃以上)で1分以上の加熱消毒が有効です。)
- ② 食品からの感染を防ぐ  
 ・**加熱して食べる食材は中心部までしっかりと「加熱」**しましょう。  
 (85℃1分以上の加熱が必要です。食材の中心部までしっかりと火を通しましょう)  
 ・**調理器具や調理台は「消毒」していつも清潔**にしましょう。  
 (まな板、包丁、食器、ふきんなどは使用後すぐに洗いましょ。熱湯(85℃以上)で1分以上の加熱消毒が有効です。)
- ③ 汚物はすぐに拭き取る・乾燥させない  
 ノロウイルスは乾燥すると空中に漂い、口に入ると感染することがあるので、**嘔吐物や糞便は速やかに処理する**事が感染防止に重要です。十分に換気しながら使い捨て手袋、エプロン、マスク等を着用して処理しましょう。
- ④ 嘔吐物等をきれいに拭き取った後は消毒する  
 床等の消毒について、**ノロウイルスには家庭用塩素系漂白剤(主成分:次亜塩素酸ナトリウム)を水で薄めた消毒液が有効**です。  
 注意: アルコール消毒は新型コロナウイルスには効果的ですが、ノロウイルスには効きません。



# 奈良県感染症情報

令和3年 第44週(11月1日～11月7日)  
奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)  
<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## 今週の概要

- 小児科外来情報
- 10月報(月単位)報告対象疾患(性感染症・薬剤耐性菌感染症)の状況

### ◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県		北部	中部	南部
		定点当たり	(前週) 増減			
1	感染性胃腸炎	2.47	(2.35) →	↗	→	↓
2	手足口病	1.94	(2.21) ↗	→	↑	↑↑
3	ヘルパンギーナ	0.56	(0.68) ↗	↑	↓	↓
4	突発性発しん	0.41	(0.35) ↗	↑	→	→
5	咽頭結膜熱	0.15	(0.12) →	→	↓	↑↑

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています)  
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの増減 **↑**急増、**↑↑**増加、**↗**やや増加、**→**横ばい、**↘**やや減少、**↓**減少

### ◆ 県内概況(新型コロナウイルス関係) ◆

第44週の新型コロナウイルス新規感染者数は16名と、前週より減少しています。  
 県民のみならず、引き続きの感染予防の徹底へのご協力をお願いいたします。

### ◆ 県内概況(その他の感染症) ◆

手足口病の定点当たり報告数が高いレベルで推移しています。特に中和保健所管内西部地域からの報告数が多い状態が続いています。手足口病は飛沫感染や接触感染で感染します。  
 手足口病の一般的な感染対策は、接触感染を予防するために手洗いをしっかりとすること、排泄物を適切に処理することです。保育施設などの乳幼児の集団生活では、感染を広げないために、しっかりと手洗いをすることが大切です。特におむつを交換する時には、排泄物を適切に処理し、しっかりと手洗いをしてください。手洗いは流水と石けんで十分に行ってください。また、タオルの共用はしてはけません。

### ◆ 小児科外来情報 ◆

**北部地区(田中小児科医院)**  
 予防接種と健診以外の来院者は少なくなっている。  
 感染性胃腸炎が少なくなり、他に登録する感染症は無い。  
 短期の発熱、その後の咳の症例があるが対症療法で軽快している。

### ◆ 中部地区(圃本内科こどもクリニック)

軽症の感冒例が主。発熱例は減少した。  
 Covid19 疑い例、インフルエンザ例はない。  
 感染性胃腸炎あり、嘔吐、水様下痢のノロ様であるが軽症経過、家族内感染も見られていない。  
 水痘があった。その他の届け出疾患はなかった。

**南部地区(奈良県総合医療センター小児科)**  
 咳・鼻汁の呼吸器感染症が多い。発熱遷延者には下気道感染症も含まれるが、ほとんどがウイルス性であった。COVID-19、インフルエンザ陽性例はみられていない。  
 胃腸炎は減少してきたが、ノロウイルス陽性例は散見されている。いずれも対症療法で軽快している。





# 奈良県感染症情報

令和3年 第45週(11月8日～11月14日)  
奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)  
<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## 今週の概要

- 病原体(ウイルス)検出情報(10月)
- 12月1日は「世界エイズデー」

### ◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県		北部	中部	南部
		定点当たり	(前週) 増減			
1	感染性胃腸炎	2.56	(2.47) →	↗	→	↘
2	手足口病	2.29	(1.94) ↗	↗	↗	↘
3	ヘルパンギーナ	0.53	(0.56) →	↘	↗	↘
4	突発性発しん	0.50	(0.41) ↑	↗	↗	↘
5	水痘	0.32	(0.15) ↑↑	↗	↑↑	→

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。) 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑**急増、**↑**増加、**↗**やや増加、**→**横ばい、**↘**やや減少、**↙**減少

### ◆ 県内概況(新型コロナウイルス関係) ◆

第45週の新型コロナウイルス新規感染者数は15名と、前週より減少しています。県民のみならず、引き続きの感染予防の徹底へのご協力をお願いいたします。

### ◆ 県内概況(その他の感染症) ◆

手足口病の報告数が高いレベルで推移しています。手足口病およびヘルパンギーナは例年7～8月にピークを迎える感染症ですが、本年は9月頃から増加し始めました。症状が軽快してもしばらくの間、便中にはウイルス排泄が続きますので、トイレやおむつ交換の後には、しっかりと手を洗いましょう。

### ◆ 病原体(ウイルス)検出情報(令和3年10月) ◆

\* ウイルス分離同日での集計結果

検出病原体	臨床診断名		
	北部	中部	南部
ヒトヘルペス 6B			1 急性脳症(1)
EB	1		感染性モノパチー(1)

### ◆ 12月1日は「世界エイズデー」 ◆

令和3年度世界エイズデーキャンペーンテーマは「レッドリボン30周年 ～ Think Together Again～」

世界エイズデー(World AIDS Day:12月1日)は、世界レベルでのエイズのまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を目的に、WHO(世界保健機関)が1988年に制定したもので、毎年12月1日を中心に、世界各国でエイズに関する啓発活動が行われています。

「レッドリボン(赤いリボン)」は、世界エイズデーキャンペーンをはじめ、HIV/エイズに関する運動の世界的シンボルです。レッドリボンは、あなたがエイズに関して偏見を持っていない、エイズとともに生きる人々を差別しないというメッセージです。このレッドリボンの意味を知り、レッドリボンを身につけることによって、エイズをみんなんで考えましょう。

【参考】エイズ予防情報ネットワーク(AP-Net) <https://api-net.jp/ap.or.jp/>  
厚生労働省 <https://www.mhl.go.jp/bunya/kenkou/eizu/>



# 奈良県感染症情報

令和3年 第46週(11月15日～11月21日)  
奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)  
<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## 今週の概要

- 小児科外来情報

### ◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県		北部	中部	南部
		定点当たり	(前週) 増減			
1	手足口病	4.53	(2.29) ↑	↗	↗	↘
2	感染性胃腸炎	3.71	(2.56) ↑	↗	↗	↘
3	ヘルパンギーナ	0.44	(0.53) →	↘	↗	→
4	RSウイルス感染症	0.26	(0.06) ↑↑	↗	↑↑	→
5	突発性発しん	0.24	(0.50) ↘	↘	→	↘

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。) 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑**急増、**↑**増加、**↗**やや増加、**→**横ばい、**↘**やや減少、**↙**減少

### ◆ 県内概況(新型コロナウイルス関係) ◆

第46週の新型コロナウイルス新規感染者数は8名と、前週より減少しています。県民のみならず、引き続きの感染予防の徹底へのご協力をお願いいたします。

### ◆ 県内概況(その他の感染症) ◆

手足口病の報告数は依然として多い状況が続いており、先週よりさらに増加しています。手足口病は、手や足、口の中に水ぶくれのような発疹のできる感染症です。口の中の痛みから食事や水分補給が十分に出来ず、脱水症状になることもあるため、注意が必要です。感染経路は主に接触感染と飛沫感染です。感染しても発病せずにウイルスを排泄していることもあるため、手洗いや、咳エチケットを徹底し、感染予防に努めましょう。また、タオルやハンカチ、おもちゃの共用は避けるようにしましょう。

### ◆ 小児科外来情報 ◆

#### 北部地区(田中小児科医院)

昼夜の温度差のためか、風邪症状の発熱と咳が見られるが、数日で改善している。

感染性胃腸炎は少なくなった。

インフルエンザを疑う症例はない。

保育園で水痘が続いている。

#### 中部地区(南奈良総合医療センター小児科)

外来数は増加。鼻水、咳等の軽症経過の感冒例が主。

感染性腸炎が増加。下痢例は減少し嘔吐が主のノロ様例が多い。

インフルエンザはまだ見られていない。

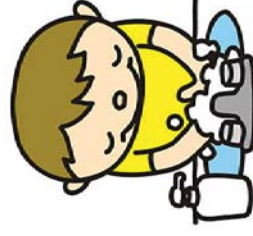
手足口病が増加中。水痘もあった。

#### 南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

ウイルス性呼吸器疾患・胃腸炎は増加傾向にあるも、いずれも軽症で経過している。

インフルエンザ様症状が散見されたも、大きな流行にはなっていない。

夏カぜはまだまだなくなかった。





# 奈良県感染症情報

令和3年 第47週(11月22日～11月28日)  
奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)  
<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## 今週の概要

- 時季外れの手足口病に注意してください

### ◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

順位	疾患名	奈良県		北部	中部	南部
		定点当たり	(前週) 増減			
1	感染性胃腸炎	4.50	(3.71) ↑	↑	↑	↑
2	手足口病	3.59	(4.53) ↓	↔	↔	↑↑
3	突発性発しん	0.53	(0.24) ↗	↑	↔	↓
4	ヘルパンギーナ	0.29	(0.44) ↘	↓	↘	→
5	水痘	0.24	(0.06) ↑	↑↑	↓	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。) 増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑**急増、**↑**増加、**↗**やや増加、**→**横ばい、**↘**やや減少、**↓**減少

### ◆県内概況(新型コロナウイルス関係)◆

第47週の新型コロナウイルス新規感染者数は2名と、前週より減少しています。県民のみならず、引き続きの感染予防の徹底へのご協力をお願いいたします。

### ◆県内概況(その他の感染症)◆

前年の冬季に流行がなかった感染性胃腸炎が増加傾向ですので、今後の注意が必要です。手足口病の報告数はやや下がりましたが、まだ高いレベルで推移しています。一方、インフルエンザの報告はまだ見られません。

### ◆時季外れの手足口病に注意してください◆

現在、手足口病が1歳児から2歳児を中心に流行しています。手足口病は子どもを中心に主に夏に流行するウイルスの感染によって起こる感染症で、口の中や、手足などに水疱性の発疹が出ます。手足口病の感染経路は、飛沫感染、接触感染、糞口感染(便の中に排泄されたウイルスが口に入ってから感染すること)などが知られています。特に、この病気にかかりやすい年齢層の乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは注意が必要です。

手足口病には有効なワクチンがなく、また手足口病の発病を予防できる薬もありません。治った後でも、比較的長い期間、便などからウイルスが排泄されることがあります。また、感染しを予防するためには手洗いをしっかりとすること、排泄物を適切に処理することです。特に、保育施設などの乳幼児の集団生活では、感染を拡げないために、職員と子ども達が、しっかりと手洗いをすることが大切です。特におむつを交換する際には、排泄物を適切に処理し、しっかりと手洗いをしてください。手洗いは流水と石鹸で十分に行ってください。また、タオルの共用は避けたいです。



手足口病は、基本的には軽い症状の病気ですが、経過観察を含め、症状に応じた治療となります。しかし、まれに髄膜炎や脳炎など中枢神経系の合併症などが起こる場合がありますから、経過観察をしっかりと行い、高熱が出る、嘔吐する、視線が合わないなどの症状がみられた場合は、すぐに医療機関を受診しましょう。

【参考】厚生労働省 手足口病に関するQ&A

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/hfmd.html>



# 奈良県感染症情報

令和3年 第48週(11月29日～12月5日)  
奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)  
<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## 今週の概要

- 小児科外来情報

### ◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

順位	疾患名	奈良県		北部	中部	南部
		定点当たり	(前週) 増減			
1	感染性胃腸炎	6.06	(4.50) ↑	↑↑	↑	↑↑
2	手足口病	2.50	(3.59) →	→	→	↑↑
3	咽頭結膜熱	0.26	(0.12) ↑	→	↑↑	↘
3	ヘルパンギーナ	0.26	(0.29) ↘	→	↓	↓
5	突発性発しん	0.18	(0.53) ↓	↓	↓	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。) 増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑**急増、**↑**増加、**↗**やや増加、**→**横ばい、**↘**やや減少、**↓**減少

### ◆県内概況(新型コロナウイルス関係)◆

第48週の新型コロナウイルス新規感染者数は4名と、前週より微増しています。県民のみならず、引き続きの感染予防の徹底へのご協力をお願いいたします。

### ◆県内概況(その他の感染症)◆

感染性胃腸炎が増加傾向です。例年、冬期にはノロウイルスによる胃腸炎が流行します。ノロウイルスによる感染性胃腸炎の予防には、しっかりと手洗いをすることが重要です。また、牡蠣、シジミ、アサリ、ハマグリ等の二枚貝は、中心部まで十分に加熱するようにして、生食には注意するようにしましょう。手足口病の報告数は前週に引き続きやや下がりましたが、まだ高いレベルで推移しています。感染拡大防止のため、引き続き、咳エチケット、こまめな手洗いを徹底し、タオルなどの共用は避けるようにしましょう。

### ◆小児科外来情報◆

#### 北部地区(田中小児科医院)

軽症な感染性胃腸炎と手足口病が少数が続いている。カンピロバクター腸炎があった。原因となる食材は不明。インフルエンザが症状の患児はいなかった。

#### 中部地区(岡本内科子どもクリニック)

鼻、咳等の軽症の感冒例が主。アデノウイルスの発熱例があったが減少した。手足口病の流行があったが増加に至らず。嘔吐が主のノロウイルスが流行。点滴を要する例はなく軽症経過。インフルエンザはまだない。

#### 南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

上気道炎増加、ほとんどが軽症で経過するも、一部遷延化している。迅速では特定の菌種は同定できていない。インフルエンザ、RSVの大きな流行はまだない。ノロウイルス感染は減少。手足口病の流行はまだ続いている。







# 奈良県感染症情報

令和3年 第49週(12月6日～12月12日)  
奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)  
<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## 今週の概要

- 新型コロナウイルス追加接種(3回目接種について)
- 11月報(月単位報告対象疾患(性感染症・薬剤耐性菌感染症)の状況)

### ◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

順位	疾患名	奈良県		北部	中部	南部
		定点当たり	(前週) 増減			
1	感染性胃腸炎	9.26	(6.06) ↑	↑	↑	↑↑
2	手足口病	2.38	(2.50) ↓	→	↓	↑↑
3	突発性発しん	0.35	(0.18) →	→	→	↓
4	咽頭結膜熱	0.21	(0.26) ↓	↑↑	→	→
4	ヘルパンギーナ	0.21	(0.26) ↓	→	↓	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。) 増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑**急増、**↑**増加、**→**横ばい、**↓**やや減少、**↓**減少

### ◆ 県内概況(新型コロナウイルス関係)◆

第49週の新型コロナウイルス新規感染者数は2名と、前週より減少しています。県民のみならずには、引き続きの感染予防の徹底へのご協力をお願いいたします。

### ◆ 県内概況(その他の感染症)◆

感染性胃腸炎が増加しています。冬期に流行するノロウイルスは、手指や食品などを介して、経口で感染し、ヒトの腸管を増殖し、おう吐、下痢、腹痛などを起こします。子どもやお年寄りなどでは重症化したり、吐ぶつを誤って気道に詰まらせてしまうこともあるため、注意が必要です。

手足口病は前週に引き続きやや減少しましたが、例年のこの時期と比べると高いレベルで推移しています。タオルやおもちゃなどの共有は避け、流水と石けんによる手洗いを十分に行うようにしましょう。

### ◆ 新型コロナウイルス追加接種(3回目接種)について◆

新型コロナウイルスの2回目接種を完了した日から、原則8ヶ月以上経過した18歳以上の方を対象に、追加接種(3回目接種)が始まりました。

厚生労働省の審議会で議論された結果、感染拡大防止や重症化予防の観点から、初回(1回目・2回目)接種を完了したすべての方に追加接種の機会を提供することが望ましいとされています。なお、高齢者、基礎疾患を有する方などの「重症化リスクが高い方」、重症化リスクが高い方の関係者・介助者(介護従事者など)などの「重症化リスクが高い方との接触が多い方」、医療従事者などの「職業上の理由などによりウイルス曝露リスクが高い方」は、特に追加接種を推奨されています。

※原則として、新型コロナウイルスとそれ以外のワクチンは、同時に接種できません。新型コロナウイルスとその他のワクチンは、互いに、片方のワクチンを受けてから2週間後に接種できます。

詳細については、下記の参考URLからご覧ください。

参考 ◎新型コロナウイルス追加接種(3回目接種)について(奈良県)

<https://www.pref.nara.jp/59483.htm>

◎追加接種(3回目接種)についてのお知らせ(厚生労働省)

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine\\_booster.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_booster.html)



# 奈良県感染症情報

令和3年 第50週(12月13日～12月19日)  
奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)  
<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## 今週の概要

- 小児科外来情報

### ◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

順位	疾患名	奈良県		北部	中部	南部
		定点当たり	(前週) 増減			
1	感染性胃腸炎	12.24	(9.26) ↑	↑	↑	↑
2	手足口病	1.74	(2.38) ↓	→	→	↓
3	突発性発しん	0.47	(0.35) ↓	→	↑	→
4	咽頭結膜熱	0.26	(0.21) ↑	↓	↑	↑↑
5	水痘	0.09	(0.06) ↓	↓	↓	↑↑

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。) 増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑**急増、**↑**増加、**→**横ばい、**↓**やや減少、**↓**減少

### ◆ 県内概況(新型コロナウイルス関係)◆

第50週の新型コロナウイルス新規感染者数は1名と前週より減少しています。県民のみならずには、引き続きの感染予防の徹底へのご協力をお願いいたします。

### ◆ 県内概況(その他の感染症)◆

感染性胃腸炎の定点当たり報告数が前週に引き続き増加傾向です。特に中和保健所西部地域では警報開始基準値である20を上回りました。また、奈良市保健所管内や、中和保健所東部地域でも増加傾向です。感染予防のため、調理の前や、トイレの後はしっかりと手を洗ってください。胃腸炎の症状が治まっても長い人で4週間程度は便中にウイルスがいますので、この間のタオルの共有は避けてください。

一方、手足口病の報告数は前週に引き続き下がりましたが、まだ高いレベルで推移しています。第50週はインフルエンザの報告はありませんでした。

### ◆ 小児科外来情報◆

#### 【北部地区(田中小児科医院)】

嘔吐が初期症状のノロウイルス腸炎と発熱が先行する手足口病が続いている。インフルエンザと診断した患児はいない。保育園での水痘の発生はなくなったようだ。

#### 【中部地区(岡本内科こどもクリニック)】

軽症の感冒例が主。高熱例は少なく、インフルエンザ例も少ない。感染性腸炎は減少。水痘、手足口病が小流行。

#### 【南部地区(奈良県総合医療センター小児科)】

ウイルス性胃腸炎が急増している。重症化はみられないが下痢の遷延例が多い。手足口病は減少。アデノウイルス咽頭炎、咽頭扁桃炎が増加している。食事摂取困難例では入院加療を要した幼児もいた。インフルエンザ、RSウイルスの流行はない。

次回週報(第51週)は、令和4年1月7日(金)に発行いたします。



# 奈良県感染症情報

令和3年 第51週(12月20日～12月26日)  
奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)  
<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## 今週の概要

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止へのご協力をお願いします

## ◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

順位	疾患名	奈良県		北部	中部	南部
		定点当たり	(前週) 増減			
1	感染性胃腸炎	12.82	(12.24) ↑	↑	↑	↑↑
2	手足口病	1.62	(1.74) ↓	→	↓	→
3	A群溶連菌咽頭炎	0.38	(0) ↑↑	↑↑	↑↑	→
4	突発性発しん	0.32	(0.47) →	→	→	→
5	咽頭結膜熱	0.24	(0.26) ↗	↑↑	↑	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)  
増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑**急増、**↑**増加、**→**横ばい、**↓**やや減少、**↓↓**減少

## ◆県内概況(新型コロナウイルス関係)◆

第51週の新型コロナウイルス新規感染者数は6名と、前週より増加しています。  
県民のみならず、引き続きの感染予防の徹底へのご協力をお願いいたします。

## ◆県内概況(その他の感染症)◆

感染性胃腸炎が増加しています。特に冬季に流行することが多いノロウイルスには、次亜塩素酸ナトリウム(塩素系漂白剤)を使用し、嘔吐物や便は適切に処理するようにしましょう。ノロウイルスは乾燥すると容易に空中に漂い、これが口に入って感染することがあるので、嘔吐物や便は乾燥しないうちに床等に残らないよう速やかに処理し、処理した後はウイルスが屋外に出て行くよう空気の流れに注意しながら十分に換気を行うことが感染防止に重要です。

## ◆新型コロナウイルス感染症拡大防止へのご協力をお願いします◆

～ワクチン接種後も引き続き感染対策にご協力ください～

感染対策へのご協力、ありがとうございます。  
変異株の感染拡大を防ぐために、引き続き感染対策の継続をお願いします。  
ワクチン未接種の方は接種について検討をお願いします。

ワクチンの効果は100%ではありません。ワクチンを接種していても感染するブレークスルー感染によって誰かに感染させてしまうケースやオミクロン株については、これまでのワクチン接種の効果への影響などが指摘されています。

このため、**ワクチン接種後も「マスクの着用」や「手洗い」、「3密(密接・密集・密閉)回避」、「換気」など基本的な感染対策を徹底し、体調不良時は外出や移動を控えるなど感染拡大防止にご協力をお願いします。**

1人ひとりの行動が、大切な人と私たちの日常を守ることにつながります。



新型コロナウイルス感染症について(厚生労働省)

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html)